

基本計画シート

課題NO	重点課題-2	課題名	安定供給できるユズ産地の維持・発展																																														
対象	高知市土佐山柚子生産組合			実施期間	令和2～5年																																												
対象の概要と問題点及びあるべき姿																																																	
<p>対象の概要・問題点</p> <p>高知市土佐山柚子生産組合は、栽培技術の向上や優良系統選抜などに生産組合が一丸となって取り組み、大手取引先への酢玉販売が約95%の産地である。令和元年産で生産者196戸、栽培面積60ha、酢玉出荷量が965t、販売額が1億6千万円(H30)を超えている。</p> <p>しかし、30年生を超える高樹齢樹が25%以上あり、隔年結果が目立ち、幹腐病、黒点病が多発している。</p> <p>生産者の年齢割合は60歳以上が72%と高齢化が進み、労働力、担い手の不足が顕著になっている。生産者の大半は兼業農家で、平均栽培面積が約30a、酢玉販売単価は青果の約1/3、さらに酢玉A品が9%と低く、ユズだけでは収益があがらず農業経営が不安定である。これらの理由で、管理不良園が増加している。</p> <p>こうした中、労働力低下に応じた省力化栽培のため、H31に高知市ゆずスマート農業検討協議会を発足し、ドローンによる防除試験などを実施し、スマート農業の導入について検証を行っている。</p> <p>目標年次の姿(目指すべき姿)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口取引先とのパートナーシップを堅持するため、安定的に原材料を供給出来る産地となる。 ・スマート農業技術導入による省力化栽培で安定生産を行う。 ・生産基盤の維持のため、産地ビジョン構造改革計画の改訂、担い手の確保・育成、短棘系優良系統導入による新植・改植を行う。 																																																	
<table border="1"> <caption>栽培面積と生産量の推移</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>栽培面積 (ha)</th> <th>生産量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20年</td><td>52</td><td>750</td></tr> <tr><td>21年</td><td>57</td><td>1050</td></tr> <tr><td>22年</td><td>57</td><td>850</td></tr> <tr><td>23年</td><td>58</td><td>950</td></tr> <tr><td>24年</td><td>58</td><td>750</td></tr> <tr><td>25年</td><td>58</td><td>950</td></tr> <tr><td>26年</td><td>59</td><td>750</td></tr> <tr><td>27年</td><td>59</td><td>1050</td></tr> <tr><td>28年</td><td>60</td><td>1050</td></tr> <tr><td>29年</td><td>60</td><td>850</td></tr> <tr><td>30年</td><td>60</td><td>750</td></tr> <tr><td>R1年</td><td>60</td><td>950</td></tr> </tbody> </table>							年次	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	20年	52	750	21年	57	1050	22年	57	850	23年	58	950	24年	58	750	25年	58	950	26年	59	750	27年	59	1050	28年	60	1050	29年	60	850	30年	60	750	R1年	60	950				
年次	栽培面積 (ha)	生産量 (t)																																															
20年	52	750																																															
21年	57	1050																																															
22年	57	850																																															
23年	58	950																																															
24年	58	750																																															
25年	58	950																																															
26年	59	750																																															
27年	59	1050																																															
28年	60	1050																																															
29年	60	850																																															
30年	60	750																																															
R1年	60	950																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">普及事項</th> <th colspan="6">取り組み期間と到達目標</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>実施前</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1 安定生産</td> <td>1) 基本技術の徹底</td> <td rowspan="2">酢玉出荷量 865t (H27～30年平均)</td> <td>900t</td> <td>900t</td> <td>900t</td> <td>900t</td> </tr> <tr> <td>2) スマート農業の推進</td> <td>100a (98a)</td> <td>100a</td> <td>130a</td> <td>160a</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2 生産基盤の維持</td> <td>1) 産地ビジョン構造改革計画の見直し</td> <td rowspan="3">産地ビジョン構造改革計画 既存ビジョン計画(H28作成)</td> <td>改訂案作成 (作成)</td> <td>実践</td> <td>実践</td> <td>実践</td> </tr> <tr> <td>2) 担い手の確保・育成</td> <td>担い手確保委員会 の設置 (設置)</td> <td>試行</td> <td>実行</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 新植・改植の推進</td> <td>配布苗本数 2,300本 (平均)</td> <td>2,300本 (2300)</td> <td>2,300本</td> <td>2,300本</td> <td>2,300本</td> </tr> </tbody> </table>							普及事項	取り組み期間と到達目標						評価項目	実施前	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	1 安定生産	1) 基本技術の徹底	酢玉出荷量 865t (H27～30年平均)	900t	900t	900t	900t	2) スマート農業の推進	100a (98a)	100a	130a	160a	2 生産基盤の維持	1) 産地ビジョン構造改革計画の見直し	産地ビジョン構造改革計画 既存ビジョン計画(H28作成)	改訂案作成 (作成)	実践	実践	実践	2) 担い手の確保・育成	担い手確保委員会 の設置 (設置)	試行	実行		3) 新植・改植の推進	配布苗本数 2,300本 (平均)	2,300本 (2300)	2,300本	2,300本	2,300本
普及事項	取り組み期間と到達目標																																																
	評価項目	実施前	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																																											
1 安定生産	1) 基本技術の徹底	酢玉出荷量 865t (H27～30年平均)	900t	900t	900t	900t																																											
	2) スマート農業の推進		100a (98a)	100a	130a	160a																																											
2 生産基盤の維持	1) 産地ビジョン構造改革計画の見直し	産地ビジョン構造改革計画 既存ビジョン計画(H28作成)	改訂案作成 (作成)	実践	実践	実践																																											
	2) 担い手の確保・育成		担い手確保委員会 の設置 (設置)	試行	実行																																												
	3) 新植・改植の推進		配布苗本数 2,300本 (平均)	2,300本 (2300)	2,300本	2,300本	2,300本																																										

ポンチ絵シート

課題名	安定供給できるユズ産地の維持・発展
対象	高知市土佐山柚子生産組合
関連事業名	普及指導活動推進事業、(次世代につなぐ営農体系の確立支援事業)、人・農地プラン推進事業、新規就農総合対策事業、果樹経営支援対策事業、農地耕作条件改善事業

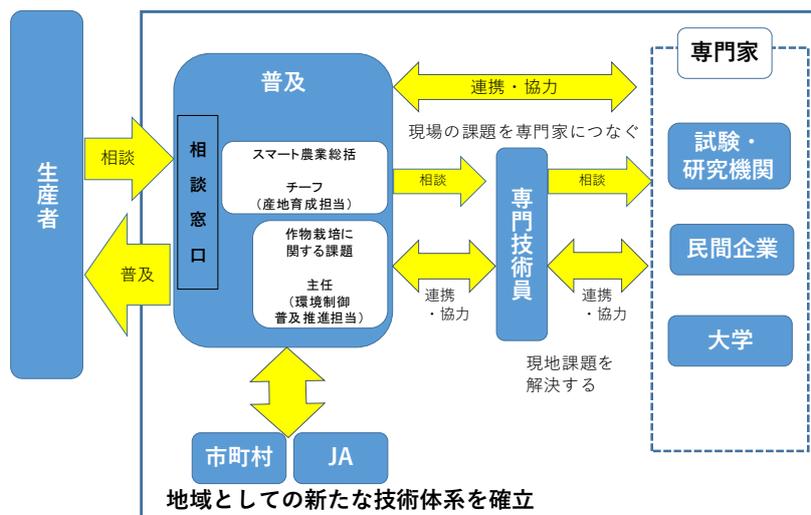
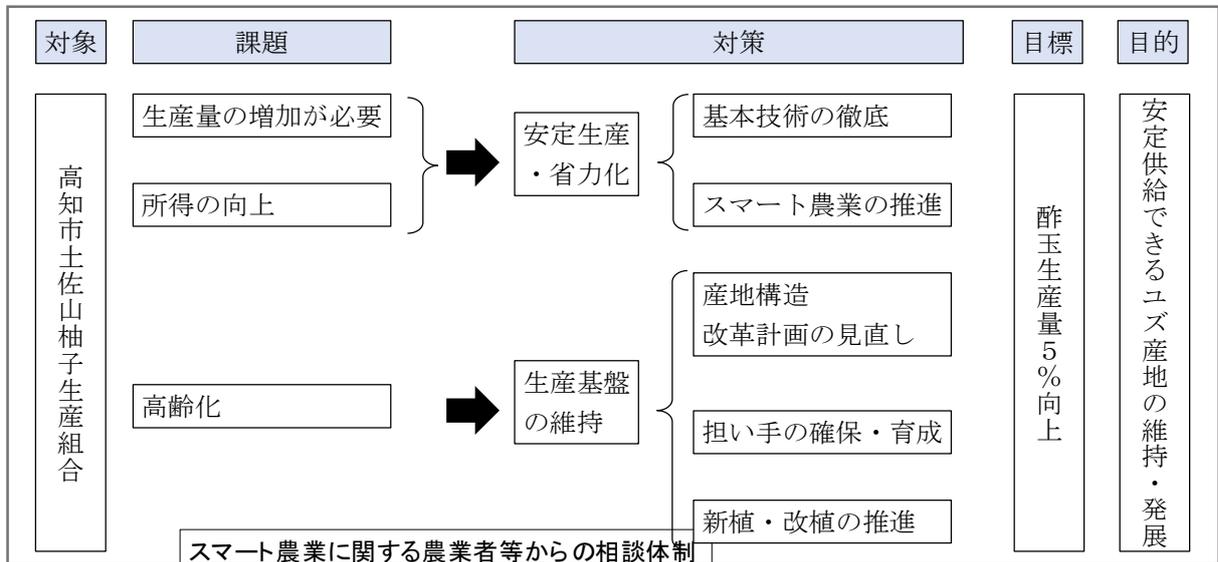
連携する関係機関との役割

●推進方向の検討と役割

J A高知市、高知市土佐山地域振興課、(一財) 夢産地とさやま開発公社、高知市ゆずスマート農業検討協議会、高知県青果物基金協会

●生産技術・担い手・経営関係課題

J A高知市、高知市土佐山地域振興課、J A高知県営農販売事業本部、環境農業推進課、農業イノベーション推進課、農業担い手支援課、農業担い手育成センター、農業技術センター果樹試験場、病害虫防除所



年度シートその2

普及事項	1 安定生産 1) 基本技術の徹底	評価指標	現状	目標	2) スマート農業の推進	評価指標	現状	目標
		酢玉出荷量	865t (過去4ヶ年)	900t		導入面積	98 a	100a
担当	山西				山西、古沢			
時期	計画				計画			
第1 四半期	4 6 月	<ul style="list-style-type: none"> 生育状況の把握と作柄予測 (巡回調査 4~6 月) 黒点病等の防除対策の周知(総会、技術情報誌の作成と配布、個別巡回 4~6 月) 青果出荷の呼びかけ、防除指導 (総会、技術情報誌、個別巡回 4~6 月) 			<ul style="list-style-type: none"> スマート農業導入に向けた実証計画、体制整備の検討 (協議会、役員会、チーム会 4~6 月) ドローン防除実証ほの設置 (個別巡回 4~6 月) 			
第2 四半期	7 9 月	<ul style="list-style-type: none"> 生育状況の把握と作柄予測 (巡回調査 7~9 月) 黒点病等の病害虫防除対策の周知 (中央研修会 7 月、技術情報誌の作成と配布、個別巡回 7~9 月) 青果出荷希望者の生育状況の把握 (個別巡回 7~9 月) 			<ul style="list-style-type: none"> ドローンの実証試験 (実証ほ、個別巡回 7~9 月) アシストスーツの展示・試着 (中央研修会 9 月) 			
第3 四半期	10 12 月	<ul style="list-style-type: none"> 生育調査と収量予測 (定点調査 10~12 月) 青果出荷実績の把握(12 月) 技術情報誌の作成と配布(10~12 月) 			<ul style="list-style-type: none"> ドローンによる実証試験の調査 (実証ほ 10 月) アシストスーツの試着(10~12 月) スマート農業導入方法及び体制整備等の検討(協議会、役員会 10~12 月) 			
第4 四半期	1 3 月	<ul style="list-style-type: none"> せん定技術指導(講習会 1~2 月、技術情報誌の作成と配布 1~3 月) 青果出荷希望者の栽培指導 (個別巡回 1~3 月) 			<ul style="list-style-type: none"> ドローン実証試験の成績とりまとめ (部会、役員会、チーム会 1~3 月) スマート農業導入方法及び体制整備等の検討(協議会、役員会 1~3 月) 			
普及	2 生産基盤	評価指標	現状	目標		評価指標	現状	目標

事項	の維持 1) 産地構造 改革計画の見 直し	産地構造 改革計画	案作成	実践	2) 担い手の 確保・育成	担い手確 保の取り 組み案	案策定	試行
担当	山西、古沢				野中、植野、吉本			
時期	計画				計画			
第1 四半 期	<ul style="list-style-type: none"> 産地構造改革計画の検討 (チーム会、役員会 4~6月) 				<ul style="list-style-type: none"> 担い手確保に向けた年間活動計画協議 (関係機関での検討会 4~6月) 担い手確保に向けた試行 今年実施事項の検討と実践に向けた体制 (担い手確保チーム会)整備 (関係機関、チーム会、役員会、個別面談、 担い手確保チーム会等 5~6月) 			
第2 四半 期	<ul style="list-style-type: none"> 産地構造改革計画の検討 (チーム会、役員会 7~9月) 産地構造改革計画承認(産地協議会 9月) 				<ul style="list-style-type: none"> 担い手確保に向けた試行 経営モデル、農地・農家調査内容の検討 (関係機関、チーム会、役員会、個別面談、 担い手確保チーム会等 7~9月) 			
第3 四半 期	<ul style="list-style-type: none"> 農地流動化に向けた意向調査 (アンケート 10月上旬配布、10月下旬(目慣 らし会時)回収) 				<ul style="list-style-type: none"> 担い手確保に向けた試行と試行結果の中間 評価 経営モデルの作成、農家調査内容の確定 (関係機関、チーム会、役員会、個別面談、 担い手確保チーム会等 10~12月) 			
第4 四半 期	<ul style="list-style-type: none"> 前期計画達成状況の検討 (役員会、チーム会 1~3月) 未管理化園地の現地確認と情報整理 (1~3月) 				<ul style="list-style-type: none"> 担い手確保に向けた試行と試行結果の評価 次年度実施事項の検討 (関係機関、チーム会、役員会、個別面談、 担い手確保チーム会等 1~2月) 次年度担い手確保について検討 (役員会、チーム会 1~2月) 			

普 及 事 項	3) 新植・改植の推進	評価指標	現状	目標
		配布苗本数	1,600本/年	2,300本/年

担当		山西、古沢
時期		計画
第1 四半 期	4 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新植・改植の誘導、事業申請説明(役員会 部会、4～6月) ・新植園の栽培管理指導(個別巡回 4～6月) ・短棘系ユズの品質特性などの情報提供(総会、技術情報誌、個別巡回 4～6月) ・苗生産技術指導(個別指導 4～6月)
第2 四半 期	7 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新植・改植の誘導、事業申請書作成支援(部会 7～9月) ・新植園の栽培管理指導(個別巡回 7～9月) ・苗生産技術指導(個別指導 7～9月)
第3 四半 期	10 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新植・改植の誘導、事業申請支援(個別巡回 10～12月) ・苗生産技術指導(個別指導 10～11月)
第4 四半 期	1 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新植・改植の管理指導、事業申請支援(個別巡回 1～3月) ・苗定植技術指導(講習会 3月) ・苗生産技術指導(個別指導 2～3月)